

サウジアラビア水環境協会（SAWEA）よりの水技術視察ミッションの来日

2023-10-18

一般財団法人 中東協力センター

中東協力センター（JCCME）は、日本の水技術を紹介し、日本企業のサウジアラビアでのビジネス機会の創成を支援するため、サウジアラムコを母体とするサウジアラビア水環境協会（SAWEA）の技術者 7 名を日本に招き、2023 年 8 月 28 日から 9 月 1 日の日程で「**水技術視察ミッション**」を実施しました。座学では大学教授および企業関係者計 12 名を講師にお招きし、また現場視察を計 4 か所で行いました。



小雀浄水場
の視察



栗田工業の研究開発拠点 Kurita Innovation Hub
(東京都昭島市) の視察



信州大学（長野市）遠藤守信特別栄誉教授
によるカーボンナノチューブ素材による新膜技術開発の説明



電業社機械製作所（三島市）視察

SAWEA 側参加者からは講義、視察中に活発な質問やコメントがあり、日本側からも積極的な情報提供を行うことで有益な交流ができました。また、閉講式において SAWEA のモハメド・アルアブドゥルラティーフ元会長から「非常に意義のある訪日であり、JCCME の協力を感謝するとともに、今後も JCCME との良好な協業関係を継続していきたい」との挨拶がありました。

また、プログラム終了直後に行った協議の場においても、SAWEA 側より改めて謝意を示されるとともに、1) SAWEA としては日本の技術ある水企業にサウジアラビアへの進出を促していきたい、2) 次世代を担う人材に早い段階で日本の水技術に触れさせるべく、今後の訪日では若手エンジニアや SAWEA の母体であるサウジアラムコに入社する前の学生などの参加枠も設けたいとの意向も表明されました。



座学の様子



閉講式後の集合写真

近年サウジアラビアは、「世界の海水淡水化市場をリードしていく」との野心的な姿勢を打ち出しています。また、ムハンマド・ビン・サルマーン皇太子が先般、「Global Water Organization」を設立すると発表したように、先端技術を用いて環境負荷の低い、安全で持続可能な水資源の開発に国際的に取り組んでいくことを目指しています。

JCCME は引き続き、日本およびサウジアラビアの関係機関と連携の上、サウジアラビアの水分野への投資に向けた日本企業の活動を支援します。

以上